

令和4年度 調布市立上ノ原小学校 授業改善推進プラン

学校の教育目標

◎よく考え進んで学習する子ども ○思いやりをもち仲良くする子ども ○健康で明るく元気な子ども

目指す学校像(ビジョン) 例)学校像, 教員像, 児童・生徒像

目指す学校像【ごきげんな学校】

(1) 児童にとって「よきこびのある毎日が送れる学校」

- ・友達と関わるのでできるよきこび・学んで分かるよきこび・心を解放して体を動かすよきこび
- ・自分の存在が認められるよきこび・自分の成長が実感できるよきこび・自分の将来に希望がもてるよきこび

(2) 保護者, 地域にとって「安心して任せられる私たちの学校」

- ・開かれた学校→教育活動の積極的な発信・安心できる学校→素早く,丁寧で誠実な対応・私たちの学校→協力,協働の取組(学校HP,学年だより,来校機会確保)(子供の成長を願って共に悩み,喜び)(地域学校協働本部学校を核とした地域づくり)

(3) 教職員にとって「ごきげんな職場」

- ・風通しのよい明るい職場・やりたいことができる職場・成長できる職場

(まずは挨拶,コミュニケーションをしっかりと)(できない,やらない理由を作らずにチャレンジ)(学び,成長する機会の確保,職に誇りと責任を)

ビジョンの設定理由 (本校の現状と課題)

(本校の現状と課題)

- 児童は,学力が高く真面目であるが,全体的におとなしく控えめである。体力テストの結果は,全ての学年で全国平均の数値を下回っている。児童が自分のよさに気づき,自分のよさを生かすことができるよう,環境を整え,活力に満ちた学校にすることが課題である。
- 個別の支援を必要とする児童が一定数おり,不登校及び不登校傾向のある児童も多い。家庭,SC,関係機関と連携した組織的な対応を進めること。また,CS導入に向けて地域学校協働活動を活性化させることが課題である。
- 学年担任制や教科交換授業を生かし,校内研究やOJTを通して,教員の指導力を向上させ,主体的・対話的で深い学びの実現に向けた授業改善を行うことが課題である。

教科	目指す学校像(ビジョン)を基にした 育成したい資質・能力	資質・能力を育成するための具体的取組
国語	<p>【知識・技能】 日常生活に必要な国語について,その特質を理解し適切に使っている。</p> <p>【思考・判断・表現】 「話すこと・聞くこと」,「書くこと」,「読むこと」の各領域において,日常生活における人との関わりの中で伝え合う力を高め,自分の思いや考えを広げている。</p> <p>【主体的に学習に取り組む態度】 言葉を通じて積極的に人と関わったり,思いや考えを広げたりしながら,言葉がもつよさを認識し,対話的な活動を通して,言語感覚を養い,言葉をよりよく使おうとしている。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ○音読指導を習慣化し,反復指導が可能な教材を活用した文字指導を行うなどして,基礎基本の定着を図る。【1年】 ○交流活動を習慣化し,反復指導を通して話す・聞く力を育む。【1年】 ○順序を整理して考え,話し合ったり書こうとしたりする態度を育て,内容や人数など目的をもった話し合い活動を取り入れる。【2年】 ○話のまとまりに気を付けて分かりやすい文章を書けるように指導する。【3年】 ○身に付けた漢字を使って,文章を書く機会を授業で多く設ける。【4年】 ○文章の構成(主語・述語・修飾語)の関係を考え,適切な文章を書いたり話したりできるようにする。【5年】 ○文章の構成や表現の工夫を読み深め,自分の考えを話したり書いたりできるようにする。【6年】
社会	<p>【知識・技能】 地域や我が国の地理的環境,現代社会の仕組みや働き,地域や我が国の歴史や伝統と文化を通して社会生活について理解しているとともに,様々な資料や調査活動を通して情報を適切にまとめている。</p> <p>【思考・判断・表現】 社会的事象の特色や相互の関連,意味を多角的に考えたり,社会に見られる課題を把握して,その解決に向けて社会への関わり方を選択・判断したり,考えたことを選択・判断したことを適切に表現したりしている。</p> <p>【主体的に学習に取り組む態度】 社会的事象について,国家及び社会の担い手として,よりよい社会を考え主体的・協働的に問題解決しようとしている。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ○学習問題を立て,課題を追究する問題解決的な学習を充実させる。【全学年】 ○地域学習を通して,自分の生活との結び付きに気付かせるような学習活動を展開する。【3年】 ○図や表,資料活用能力を高める為に,教師の発問内容や,資料の提示方法を工夫する。【4年】 ○資料集や地図,統計資料を活用し,事実を読み取ったり,その根拠を考え表現したりできるようにする。【5年】 ○資料をもとに,読み取った事実を自分なりに分かりやすくまとめたり,調べた事実と自分のつながりを考えたりする学習活動を充実させる。【6年】
算数	<p>【知識・技能】 ・数量や図形などについての基礎的・基本的な概念や性質などを理解している。 ・日常的事象を数理的に処理する技能を身に付けている。</p> <p>【思考・判断・表現】 日常的事象を数理的に捉え,見通しをもち筋道を立てて考察する力,基礎的・基本的な数量や図形の性質などを見だし,統合的・発展的に考察する力,数学的な表現を用いて事象を簡潔・明瞭・的確かつ目的に応じて柔軟に表す力を身に付けている。</p> <p>【主体的に学習に取り組む態度】 数学的活動の楽しさや数学のよさに気づき粘り強く考えたり,学習を振り返ってよりよく問題解決しようとして,算数で学んだことを生活や学習に活用しようとしていたりしている。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ○算数の場面をイメージさせるために具体的操作を取り入れ,数の感覚を養う。【1年】 ○具体物を用いた活動などを通して,場面を考えて立式できるようにする。【2年】 ○既習事項を活かして演算決定ができるようにする。【3年】 ○児童同士の教え合いが,授業内で展開できるようにする。【4年】 ○問題解決型の授業を主として,アウトプットさせる時間を確保して学習の充実を図る。【5年】 ○図や絵・表や数直線を効果的に活用させ,問題解決学習型の学習を展開する。【6年】
理科	<p>【知識・技能】 自然の事象・現象についての性質や規則性などについて理解しているとともに,器具や機器などを目的に応じて工夫して扱いながら観察,実験などを行い,それらの過程や得られた結果を適切に記録している。</p> <p>【思考・判断・表現】 自然の事象・現象から問題を見だし,見通しをもって観察,実験の方法を考えて実施し,得られた結果を基に考察し,それらを表現するなどして問題解決している。</p> <p>【主体的に学習に取り組む態度】 自然の事象・現象に進んで関わり,粘り強く,他者と関わりながら問題解決しようとして,学んだことを学習や生活に生かそうとしている。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ○日常的に観察を行い,その変化や気づき,感想をワークシート等に記録させる。【3年】 ○観察や実験のねらいを明確にし,見直しをもって問題解決ができるようにする。【4年】 ○観察や実験の目的を明確にし,自分なりに条件を整えて観察や実験方法を考えることができるようにする。【5年】 ○めあてや見直しをもって観察・実験させ,その結果から自分の考えを表現できるようにする。【6年】

<p>生活</p>	<p>【知識・技能】 活動や体験の過程において、自分自身、身近な人々、社会及び自然の特徴やよさ、それらの関わり等に気付いているとともに、生活上必要な習慣や技能を身に付けている。</p> <p>【思考・判断・表現】 身近な人々、社会及び自然を自分との関わりで捉え、自分自身や自分の生活について考え、表現している。</p> <p>【主体的に学習に取り組む態度】 身近な人々、社会及び自然に自ら働きかけ、意欲や自信をもって学ぼうとしたり、生活を豊かにしたりしようとしている。</p>	<p>○身近な人々、社会及び自然との関わりを深めることを通して、自分のよさや可能性に気づき、意欲や自信をもって生活し、生活上必要な習慣や技能を身に付けさせ自立への基礎を養う。</p> <p>○国語や算数・図工などと合科的に授業を行うことで、より児童の日常生活への近さを感じさせて授業を行う。</p>
<p>音楽</p>	<p>【知識・技能】 ・曲想と音楽の構造などとの関わりについて理解している。 ・表したい音楽表現をするために必要な技能を身に付け、歌ったり、演奏したり、音楽をつくったりしている。</p> <p>【思考・判断・表現】 音楽を形づくっている要素を聴き取り、それらの働きが生み出すよさや面白さ、美しさを感じ取りながら、聴き取ったことと感じ取ったこととの関わりについて考え、どのように表すかについて思いや意図をもったり、曲や演奏のよさなどを見いだし、音楽を味わって聴いたりしている。</p> <p>【主体的に学習に取り組む態度】 音や音楽に親しむことができるよう、音楽活動を楽しみながら主体的・協働的に表現及び鑑賞の学習活動に取り組もうとしている。</p>	<p>○児童の技能差、発達段階に応じた指導計画を工夫する。</p> <p>○範唱、節奏を聴いて、楽曲の特徴や曲想等を児童同士で話し合っつ積み、演奏に生かすよう工夫する活動を取り入れる。</p> <p>○グループやペアなど学習形態を工夫して、児童同士がお互いの良さと違いを認め合い、学び合えるようにする。</p>
<p>図画工作</p>	<p>【知識・技能】 ・対象や事象をとらえる造形的な視点について自分の感覚や行為を通して理解している。 ・材料や用具を使い、表し方などを工夫して、創造的につくったり表している。</p> <p>【思考・判断・表現】 形や色などの造形的な特徴を基に、自分のイメージをもちながら、造形的なよさや美しさ、表したいこと、表し方などについて考えるとともに、創造的な発想や構想をしたり、作品などに対する自分の見方や感じ方を深めたりしている。</p> <p>【主体的に学習に取り組む態度】 つくりだす喜びを味わい主体的に表現及び鑑賞の学習活動に取り組もうとしている。</p>	<p>○安全に十分配慮しながら伸び伸びと表現し、基本的な技術と意欲を高められるような授業を行う。また、グループ活動や鑑賞活動を適切に設定し、共感する心や社会性、自尊感情などを養っていく。</p> <p>○各学年の発達段階に応じて、取り扱う材料や用具を考え、経験したことや既習のことが生かせるよう、題材設定を工夫する。</p>
<p>家庭</p>	<p>【知識・技能】 日常生活に必要な家族や家庭、衣食住、消費や環境などについて理解しているとともに、それらに係る技能を身に付けている。</p> <p>【思考・判断・表現】 日常生活の中から問題を見い出して課題を設定し、様々な解決方法を考え、実践を評価・改善し、考えたことを表現するなどして課題を解決する力を身に付けている。</p> <p>【主体的に学習に取り組む態度】 家族の一員として、生活をよりよくしようと、課題の解決に主体的に取り組んだり、振り返って改善したりして、生活を工夫し、実践しようとしている。</p>	<p>○グループ活動の形態を工夫したり実習場面を増やしたりすることで、経験の共有化を図ったり協力したりできるようにするとともに適切な師範や資料提示により基本的な技能の定着を図る。</p>
<p>体育</p>	<p>【知識・技能】 各種運動の行い方について理解しているとともに、基本的な働きや技能を身に付けている。また、身近な生活における健康・安全について実践的に理解しているとともに、基本的な技能を身に付けている。</p> <p>【思考・判断・表現】 自己の運動の課題を見付け、その解決のための活動を工夫しているとともに、それらを他者に伝えている。また、身近な生活における健康に関する課題を見付け、その解決を目指して思考し、判断して、それらを他者に伝えている。</p> <p>【主体的に学習に取り組む態度】 運動の楽しさや喜びを味わうことができるよう、運動に進んで取り組もうとしている。また、健康を大切に、自己の健康の保持増進についての学習に進んで取り組もうとしている。</p>	<p>○児童の発達段階に応じて、様々な動きを繰り返し経験させる。また、その活動を繰り返す中で、試行錯誤したり、協同的に解決できるよう、運動の特性に合わせて、めあてやルールを工夫したりして、運動の楽しさを十分に味わえるようにする。</p> <p>○安全に十分配慮しながら伸び伸びと表現し、基本的な技術と意欲を高められるような指導を行う。また、グループ活動や他の児童の模範を見る時間などを適切に設定し、共感する心や社会性、自尊感情などを養っていく。</p> <p>○ホワイトボードや拡大掲示などを効果的に活用し、活動へのハードルを下げる。誰でも簡単に取り組み始めるよう、視覚的にも活動を伝えられるようにする。</p> <p>○iPadを効果的に活用し、動きを撮影したりチームでの話し合いに活用したりするなど、対話的な活動につなげられるようにする。</p>
<p>外国語</p>	<p>【知識・技能】 言語活動を通じて知識を理解するとともに、実際のコミュニケーションにおいて活用できる基礎的な技能を身に付けている。</p> <p>【思考・判断・表現】 目的や場面、状況などに応じて、自分の考えや気持ちなどを伝え合っている。</p> <p>【主体的に学習に取り組む態度】 他者に配慮しながら、主体的にコミュニケーションを図ったり、外国語を学ぼうとしたりしている。</p>	<p>○単元ごとに定められた言語材料を確実に身に付けられるよう、新しい表現や語彙に既習のものを織り交ぜ何回も聞いたり話したりさせる。年間を通して、同じ表現や語彙に繰り返し触れられるようにする。</p> <p>○児童が話したくなるような目的・場面・状況を設定し、言語活動を行う。</p> <p>○毎時間友達や教師と英語を使って会話をする時間を取り、コミュニケーションを取る楽しさや、どのようなコミュニケーションの図り方が良いのかを実感させる。</p> <p>○振り返りシートを活用し、自身の学習状況の確認や次のめあての設定を行わせる。</p>
<p>道徳科</p>	<p>(1) 道徳的諸価値について、自身の体験などを通して、そのよさや意義、困難さ、多様さなどを認めて理解している。</p> <p>(2) 自分と他者との関わりについて、自身の経験を生かして感じ方や考え方と照らし合わせながら考えを深めている。</p> <p>(3) 他者と対話したり協働したりすることを通して、物事を多面的・多角的に捉え、自分で判断し、表現している。</p> <p>(4) 道徳的価値の形成を基盤とし、自己の生き方について考えを深めようとしている。</p>	<p>(1) 多様な道徳的諸価値を取り上げるため、特定の道徳的価値について絶対的なものとして扱わず、実感を伴った指導を行うことにより理解を深める。</p> <p>(2) 自己の考えの深まりを認めるだけでなく、他者との意見交換の場を設ける。その関わりの中で深まっていく自己理解を大切に、記録を貯めて自己の変容や考えの深まりを振り返るようすることで成長を実感させる。</p> <p>(3) グループ内で行う意見交換や立場を分けて話し合いをすすめることで、多くの考えに触れ、物事を多角的・多面的に考え、道徳的価値を理解する。</p> <p>(4) 道徳的価値に関わる事象を児童実態に即して具体的な事例を挙げて考えさせ、自分自身の問題として受け止められるようにする。そして、自己の生き方の課題を考え、実現していこうとする思いや願いを深められるようにする。</p>
<p>外国語活動</p>	<p>【知識・技能】 言語活動を通じて、外国語の音声や基本的な表現に慣れ親しんでいる。</p> <p>【思考・判断・表現】 身近で簡単な事柄について自分の考えや気持ちなどを伝え合っている。</p> <p>【主体的に学習に取り組む態度】 相手に配慮しながら、主体的にコミュニケーションを図ったり、外国語を学ぼうとしたりしている。</p>	<p>○歌やチャンツを利用し、同じ表現や語彙に楽しみながら繰り返し触れられるようにする。</p> <p>○児童が話したくなるような目的・場面・状況を設定し、言語活動を行う。</p> <p>○毎時間、友達や教師と英語を使って会話をする時間を取り、コミュニケーションを取る楽しさや、どのようなコミュニケーションの図り方が良いのかを実感させる。</p> <p>○毎時間振り返りをしながら、学習状況の確認や次のめあての設定を行わせる。</p>

